

2026年度～2030年度（5カ年）

第2期常滑市デジタル化推進プラン (案) 概要版



デジタルでつなぐ
便利で安心して暮らせる
スマートなまち常滑

※画像は生成AI（Copilot）で作成

1 策定の背景・目的

本市では、2021（令和3）年3月に、「暮らしの質を高める、価値あるデジタル化・人にやさしいデジタル化の推進」を基本方針とした「とこなめデジタル化推進宣言」を行いました。

2022（令和4）年3月には、この宣言をもとに、「常滑市デジタル化推進プラン」を策定しました。

このたび計画期間が満了することから、「第2期常滑市デジタル化推進プラン」を策定します。



2 位置付け

本市は、本プランを「第6次常滑市総合計画」の個別分野計画として位置付け、デジタル化の推進により総合計画を支える役割を担います。

また、「官民データ活用推進基本法」第9条第3項に基づき、「市町村官民データ活用推進計画」としても位置付けます。

3 計画期間

国・県の方針との整合性を図るために、本計画の期間を令和8（2026）年度から令和12（2030）年度までの5年間とします。

なお、計画期間内であっても、国のデジタル施策の動向や技術の進展に応じて計画の見直しを行います。

4 基本理念

デジタルでつなぐ
便利で安心して暮らせる
スマートなまち常滑

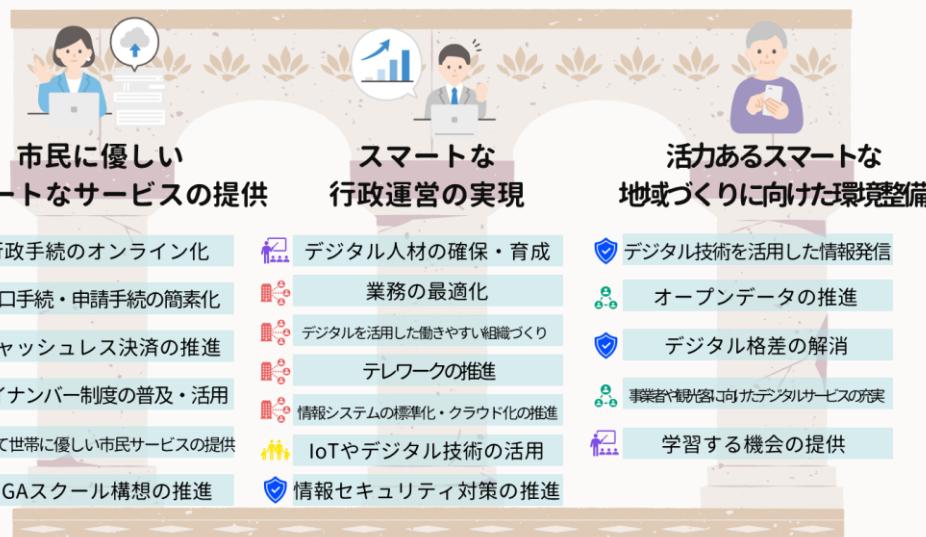


- ・第1期プランの基本理念を踏まえつつ、デジタルを活用し、利用者に寄り添い、時間や手間のかからない市民サービスを実現
- ・行政職員の負担軽減につながる、効率的で持続可能な行政運営の推進
- ・誰一人取り残さない市民に優しいデジタル化の推進

5 基本方針

本プランでは、基本理念を達成するため「とこなめデジタル化推進宣言」におけるデジタル化推進の3つの柱

「市民サービス」「行政運営」「地域社会」に沿って以下の3つの基本方針を掲げ、デジタル化推進に向けた取り組みを進めます。



6 基本方針別の取り組み

市民に優しいスマートなサービスの提供

重：国の重点取り組み事項



1 行政手続のオンライン化

目的 市民の利便性向上と手続きの効率化

取り組み

- ・いつでもどこでも手続きができるようオンライン化を推進 **重**
- ・本人確認と文書の信頼性を保証
- ・利用者視点に立った手続きの簡素化

2 窓口手続・申請手続の簡素化

目的 市民の申請・手続きと職員作業の効率化

取り組み

- ・3ない窓口の推進 **重**
- ・窓口手続きの簡素化 **重**
- ・窓口業務でBPRを実施



3 キャッシュレス決済の推進

目的 公金等の支払いを便利にします

取り組み

- ・手続きに必要な支払いのキャッシュレス対応
- ・施設の利用料等のキャッシュレス対応
- ・eLTAXを活用し、幅広い料金でキャッシュレスに対応 **重**

4 マイナンバー制度の普及・活用 **重**

目的 市民の暮らしを支えるマイナンバー制度の有効活用

取り組み

- ・マイナンバー制度を活用した窓口手続きの簡素化
- ・紙によらない本人情報の確実な共有
- ・マイナンバーカードの保有だけでなく、活用できるサービスの提供

5 子育て世帯に優しい市民サービスの提供

目的 子育てしやすい街づくり

取り組み

- ・手続きのオンライン化を進め、保育園利用者等の負担を軽減
- ・市公式LINEの子育てメニューの充実
- ・保育料等の子育てに必要な支払いのキャッシュレス決済対応

6 GIGAスクール構想の推進

目的 誰一人取り残さない公正な教育の確保

取り組み

- ・ICTを活用し、児童・生徒に合わせた学習機会の充実
- ・プログラミング教育など情報リテラシーの向上
- ・1人1台端末を双方向型授業に活用



スマートな行政運営の実現

1 デジタル人材の確保・育成

目的 職員のデジタルリテラシーを向上し、持続可能な行政運営を実現

取り組み

- ・外部の専門家を確保し、専門的な知見を活用
- ・情報化リーダーをデジタル人材として育成
- ・デジタル技術をより効果的に活用できる人材の育成

2 業務の最適化

目的 業務の効率化と自動化による、職員負担の軽減

取り組み

- ・BPRを実施し、業務を省力化
- ・AIやRPAを活用し、業務を自動化
- ・意思決定の電子化

3 デジタルを活用した働きやすい組織づくり

目的 労働力不足に対応する働き方改革の推進

取り組み

- ・BPRを実施し、働き方改革を推進
- ・会議の実施方法改善
- ・業務用IP電話アプリの拡充

4 テレワークの推進

目的 市民サービスの向上と職員の働きやすい環境の整備

取り組み

- ・テレワーク制度の導入
- ・モバイルワークの導入・活用

5 情報システムの標準化・クラウド化の推進

目的 標準システムやクラウドを活用し、行政事務を効率化

取り組み

- ・クラウドの活用を推進
- ・標準化移行後も、国・県の動向を確認・対応
- ・今後標準化されるシステムへの対応

6 IoTやデジタル技術の活用

目的 デジタル技術による業務効率化とサービス向上

取り組み

- ・IoTやデジタル技術の活用拡大
- ・各施設の鍵の管理を効率化・利便性向上
- ・電子書籍の活用



7 情報セキュリティ対策の推進

目的 安全な環境の整備と安心して利用できるサービスの提供

取り組み

- ・必要に応じて、セキュリティポリシーを見直し
- ・セキュリティポリシーに関連する規定の整備・運用の徹底
- ・CSIRTのインシデント対応訓練を実施



活力あるスマートな地域づくりに向けた環境整備

1 デジタル技術を活用した情報発信

目的 よりわかりやすく・届く情報の発信

- ・市公式LINEの友だち登録の推進
- ・SNSやホームページで防災情報等を迅速かつ分かりやすく発信
- ・生成AIを活用した情報検索の利便性向上

取り組み

2 オープンデータの推進

目的 データ公開による地域の活性化

- ・自治体の保有するデータを二次利用が可能な形式で公開
- ・公開型GISでより多くの地図情報を提供
- ・データを利用したサービスの活用推進

取り組み

3 デジタル格差の解消

目的 全ての市民へのデジタル化の恩恵の拡大

- ・高齢者向けのスマートフォン教室の開催
- ・どなたでも見やすく、使いやすいホームページの運営
- ・職員のデジタル活用により、デジタルが苦手な方を支援

取り組み

4 事業者や観光客に向けたデジタルサービスの充実

目的 デジタルを活用し、事業者や観光客に便利な常滑市へ

取り組み

- ・ホームページなど情報発信手段の多言語化
- ・陶芸体験など体験型コンテンツのオンライン予約
- ・手続きのオンライン化

5 学習する機会の提供

目的 デジタルを活かした学びの機会の充実と豊かな生活の実現

取り組み

- ・デジタルに関する講座・教室の開催
- ・デジタルを活用した学びやすい講座・教室の開催

